

第6回 福島県実践報告会

開催要綱

1. 会 期 平成22年11月18日(木)・19日(金)
2. 会 場 「御宿東風」 〒965-8588 会津若松市東山町大字石山宇院内 706
3. テー マ グループホームがすべき役割 ～ 地域の一員として求められること ～
4. 趣 旨
グループホームは、平成18年度の介護保険制度の改定に伴い、地域密着型サービスに位置付けをされてから早くも5年目になります。
これまでの約5年間、県内の各地域にあるグループホームは、地域の特性に応じた多様なサービス提供の中で、“地域密着型サービス”の“密着”とは何か、と常に悩みながらも、地域住民や行政、各介護保険サービス事業者等との関わりの中で、「利用者の安心した暮らしの実現」「認知症の啓発活動」「認知症になっても暮らしやすい地域づくり」等を意識した取り組みを展開してきました。
今回の大会テーマ、「グループホームがすべき役割 ～地域の一員として求められること～」は、“地域密着型サービス”のあり方を再考したうえで、地域において、私たちに求められていること、私たちにできることや果たすべき役割というものを様々な視点から検証して、グループホームが、明日に向けた地域づくりの中心を担う立場でありたいとの思いで掲げました。
現在、グループホームは、全国で約11,000カ所、福島県で167カ所あります。その中で、各事業所が独自にできること、当協議会等、行政機関も含めた関係諸団体や地域住民との連携・協力によりできること、様々な可能性の広がりを模索し実行に移すことが求められています。
ぜひ、本大会を通して、グループホームのあるべき姿を一緒に考えていきたいと思えます。
5. 後 援 福島県・会津若松市・東北ブロック認知症グループホーム連合会・青森県認知症グループホーム協会・岩手県認知症高齢者グループホーム協会・秋田県認知症グループホーム連絡協議会・山形県認知症高齢者グループホーム連絡協議会・特定非営利活動法人 宮城県認知症グループホーム協議会・(社)認知症の人と家族の会 福島県支部 (一部予定を含む)
6. 参 員 200名 (会員優先)
7. 参 加 費
正会員：無料
非会員：5,000円
1日間・・・3,000円 2日間・・・5,000円
(但し、同事業所において1日目・2日目の参加者が異なる場合の2日間参加については、5,000円となります。)
宿 泊 費 11,000円 (税込み)
懇親会のみ 7,700円 (税込み)
昼 食 代 1,000円 (税込み)

3. 日 程

○大会1日目 平成22年11月18日(木)

9:15	9:45	10:30	12:30	13:30	16:10	17:30	19:00
受付	開会	表彰	記念講演	昼食	事例発表会	自由討論会	終了 情報交換会
		第一会場 「グループホーム でのこだわり」		第二会場 「グループホーム でのこだわり」		第一会場 「経営者・管理者・計画作 成担当者・その他」	
						第二会場 「一般職員・その他」	

○大会2日目 平成22年11月19日(金)

8:30	9:00	11:55	12:30
受付	事例発表会 「グループホームでのこだわり」	総評	閉会

3. 内 容

■ 1日目

<記念講演>

「美しい荒川の自然を次世代へ」(仮題)

講師：ふるさとの川・荒川づくり協議会 会長 伊藤 賢之 氏

<事例発表会>

テーマ「グループホームでのこだわり」について12組の事例発表を第一会場・第二会場にて各6事例行います。質疑応答の時間も設け様々な意見交換を行います。

※1 事例発表のテーマは、2会場とも同じです。当日は抄録等を参考にして各会場に自由に入場してください。

※2 休憩時間には会場の移動も可能です。

<自由討論会>

テーマ「グループホームでのこだわり」について、経営者・管理者・計画作成担当者・一般職員等、職種や経験年数により第一会場・第二会場に分かれ、コーディネーターを中心に自由討論を行います。

【参加対象】

○第一会場：「経営者・管理者・計画作成担当者・介護職員のリーダー・その他」

○第二会場：「一般職員・経験年数3年未満程度の職員・その他」

※1 職種、経験年数等を問わず、会場は自由に選択することができます。

※2 原則、当日の参加会場の変更はご遠慮願います。

■ 2日目

<事例発表会>

テーマ「グループホームでのこだわり」について、6組の事例発表を全体会場にて行います。質疑応答の時間も設け、様々な意見交換を行います。

8. 申込方法
- 別紙申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXにて平成22年10月28日（木）まで申込み願います。
 - 11月10日（月）頃までに、事務局より参加受付済みの文書を送付いたしますので、料金をご確認のうえ、下記の指定口座へご入金をお願いします。
 - 代金送金後の取り消し・変更等によって返金が生じた場合は、大会終了後に返金いたします。

【振込口座】

金融機関	福島銀行 本店営業部
口座番号	普通預金 No.1237966
口座名義	特定非営利活動法人 福島県認知症グループホーム協議会 会長 森 重勝

振込期限：平成22年11月15日（月） ※手数料はご負担願います。

9. 申込締切 平成22年10月28日（木） 期日厳守をお願い致します。

会員優先とし、定員になり次第締切とさせていただきますので、ご了承ください。

10. その他
- ①昼食（1日目）は、お弁当の注文を受けますので、必要な方は、別添の申込用紙に記入をお願いします。（1ヶ1000円になります）
 - ②職場で使用している名札、もしくは名刺等があればお持ちください。当日ネームプレートとして使用します。（ケースは事務局で準備します）
 - ③当日、宿泊される方へ。
研修会場へのお荷物の持ち込みは、ご遠慮願います。お部屋への案内は研修会終了後となります。

講師プロフィール 伊藤 賢之 氏

「登んだ水と豊かな自然が荒川の魅力」と話すふるさとの川・荒川づくり協議会の伊藤賢之会長

同協議会は荒川の自然保護と河川の浄化、環境教育への取り組みを目的に、1998（平成10）年に設立。河川周辺でのクリーンアップ作戦やサケの稚魚の放流など、さまざまな活動を通じて荒川の自然を守っている。

伊藤会長は「次世代を担う子どもたちに美しい川を伝えていくのがわれわれの役目」と話す。



手袋連峰を源として福島市街地を抜け、阿武隈川に合流する清流・荒川。2004（平成16）年に国土交通省の河川ランキング（平均水質）で一位、また環境省の05年度の水質測定結果河川部門で1位になるなど、全国的にも美しい川としてその名を知られている。

荒川の全長は29.7キロ。流域にはあづま総合運動公園や桜つつみ河川公園など、水と自然を備えた公園が数多く整備され、市民にとっては憩いの場として身近な存在でもある。

一方で、その名の通り「暴れ川」としての側面も持つ。古くは江戸時代の文献にも土石流やはんらん川の記述が見られ、昔から流域の住人を悩ませてきた。上流の小富士橋近くの水林自然林に並ぶ「かすみ堤」は、先人たちの苦闘の歴史を物語る。

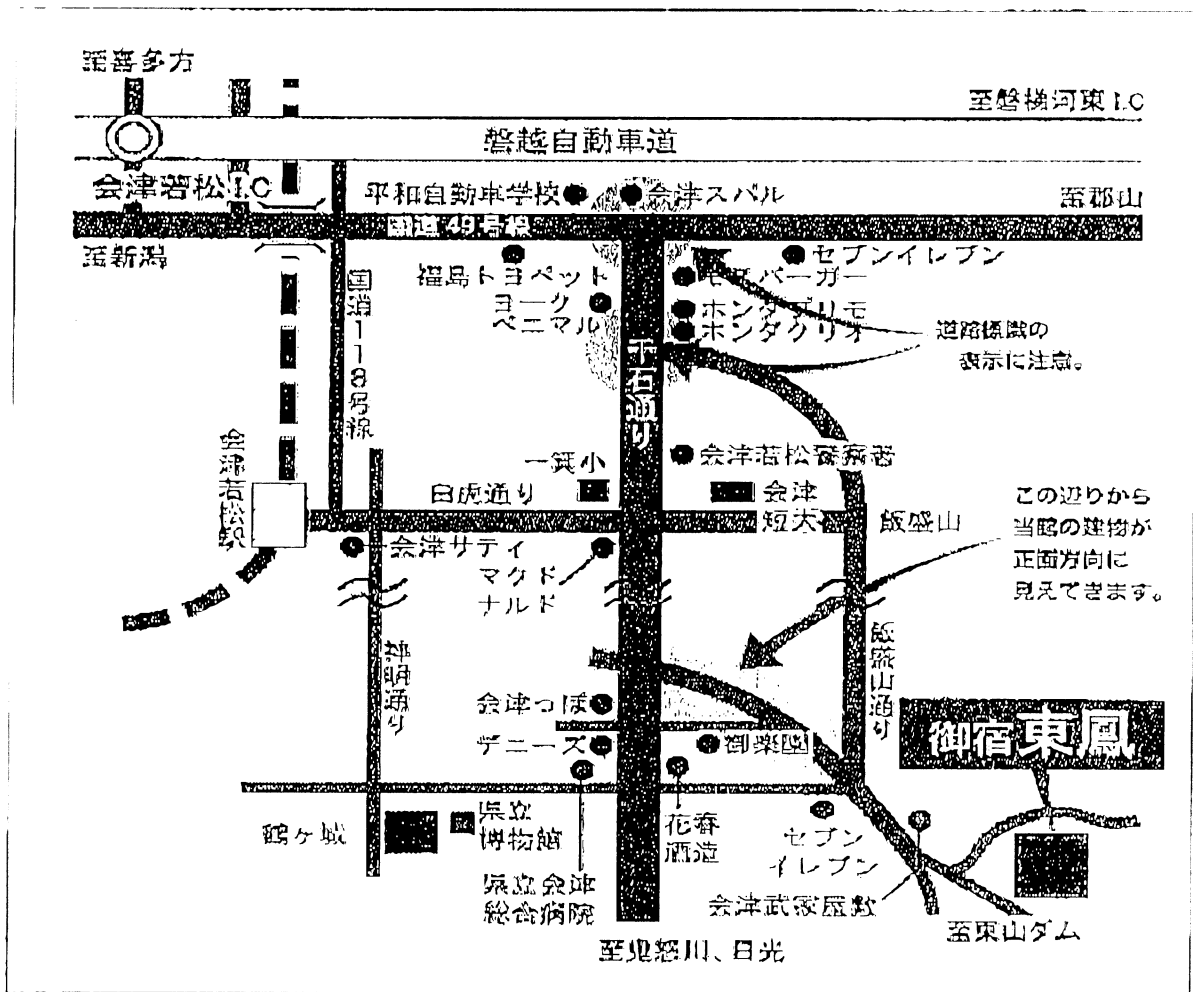
松やナラ、杉などがうっそうと茂る水防林とともに、石積みの姿を見せる「かすみ堤」。戦国時代の武将武田信玄によって考案されたといわれる治水工法で、堤防の一部に切り口を設けて洪水の際にははんらんした水を分散し、被害を少なくする機能がある。林間歩道に現存する「かすみ堤」は江戸時代に造られた。当時の姿そのままのものもあり、先人の知恵を今に伝える。

また、小富士橋の上流には、土砂をせき止めるため大正から昭和の時代に造られた「地蔵原堰堤（こんてい）」がそびえ、現在は水音とともに散策ができる遊歩道が整備されている。

minyu-net（福島民友新聞社）より抜粋

御宿東鳳

☎965-8588 福島県会津若松市東山町大字石山字院内 706 Tel.0242-26-4141



●交通アクセス

- ・磐越自動車道会津若松 IC より国道 49 号線経由で 20 分
- ・JR 磐越西線会津若松駅よりバス 20 分